

清水御影地区土地改良事業計画概要書

1	目的 清水町営育成牧場は、清水町市街地より南15kmに位置する円山団地と、北西5kmに位置する北清水団地の2つの団地からなる清水町が運営する公共牧場であり、国営草地開発事業等により整備され現在に至る。酪農業は清水町の基幹産業のひとつであり、穀物・原油価格の高騰による生産費の増大や、国内乳製品の消費動向低迷の懸念など酪農経営を取り巻く環境は大変厳しいが、清水町の酪農家においては生産性、品質の追及に真剣に取り組み酪農経営に意欲的である。また消費者の食に対する安全性や品質への関心が高まる中、酪農家が高品質な乳製品を安定的に供給できるよう、その一助となることは当牧場の責務であると考え、このため、本事業により草地整備改良及び草地造成改良を行い、粗飼料生産基盤の強化を図る。											
	2	(1) 地域の所在		北海道上川郡清水町								
		(2) 地域の現況										
		ア 地 形		清水町市街地より南15kmの円山団地と、北西5kmに位置する北清水団地で構成される傾斜地である。								
		イ 土 質		黒色火山性土								
		ウ 土 壤		腐植質黒ボク土、多湿黒ボク土								
	現 況	エ 気 象 (観測所：新得)										
		平 均 気 温		6.6℃		かんがい期平均気温		15.8℃				
		平 均 降 水 量		1111.0mm		最深積雪深		119cm		平均降水日数		144.0日
		根 雪 期 間		12月11日～3月20日		無霜期間		5月17日～10月9日				
オ 水利状況		－										
カ 営農状況	酪農と畑作が混同する農業形態が主であるが、近年は酪農専業、畑作専業の形態が増加しつつあり、生乳生産量は10万トンを超え北海道でも有数の酪農地帯である。											
	キ 地域環境の概況		清水町の気候は内陸性で寒暖の差が激しく、年間降水量は比較的小さい地域となっている。地勢は日高山脈が南北に走り、剣山・久山岳・芽室岳・ペケレベツ岳などの山系を頂点とし十勝川に向かって緩い傾斜をなし、ペケレベツ川・小林川・芽室川・久山川の各河川と本町の中央を流れる佐幌川は、いずれも十勝川に注いでいる。									
	(3) 地積及び受益戸数											
	地目		田	畑	山林原野				その他	計	受益戸数	
	区分		(ha)	(ha)	(ha)				(ha)	(ha)		
区画整理	現況		266.6	0.1					266.7	戸		
		計画		266.7					266.7		1	
	計画									戸		
		計画										
全体	現況		266.6	0.1					266.7	戸		
	計画		266.7						266.7		1	
3	(1) 事業計画内容 地区内の営農阻害要因を解消するため、草地整備改良及び草地造成改良を行い、生産性の向上及び作業効率の向上など地域農業の発展・安定化を図る。											
	(2) 環境との調和への配慮 本地域は、清水町田園環境整備マスタープランにおいて、環境創造区域及び環境配慮区域としての位置付けがされているため、基本方針に従い環境に配慮し、環境負荷の少ない事業を行う。											
4	工事又は管理の要領	事業種		受益面積		事業量及び事業内容						
		区画整理		266.7 ha		草地整備改良 A=257.5ha 草地造成改良 A=9.2ha						
				ha								
	造成又は改良	施設名		管理団体名		管理方法						
	される施設の管理方法等											

換地計画の要領	(1) 換地計画樹立の必要性										
	(2) 換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準 イ 農用地集団の方法										
	換地区		地帯別、グループ別団地の設定		位置選択		個人別換地の方法 1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い		
	ウ 非農用地の換地方針										
	換地区		種類		非農用地区域の位置の概略		面積 ha		換地の手法 換地取得予定者 その他		
	エ 清算の方法										
	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積										
	換地区		機能交換に係る土地				一般公有地		合計		
		国有地		道有地		市町村有地		計			
		ha		ha		ha		ha			
(4) 換地処分の時期に関する特則											
費用の概算	事業種		事業費		負 担 区 分				工 期		
			千円		国		道		地元		
	区画整理		622,000		311,000		155,500		155,500		
	調査費		200				100		100		
	計		622,200		311,000		155,600		155,600		
効 用	区画整理	(1) 事業の効用 ほ場の傾斜緩和、不陸の解消、併せて暗渠排水を実施することにより、生産性及び作業効率が向上する。総費用総便益比2.22と1.0以上になっている。									
		(2) 事業効果額									
		効果項目	食料の安定供給に関する効果		農業の持続的発展に関する効果		農村の振興に関する効果		多面的機能の発揮に関する効果		その他
		効果額(千円)	58,082								11,389
		(3) 事業負担の見通し 事業費の負担については、清水町が負担する。									
他事業との関係	区画整理	(1) 事業の効用									
		(2) 事業効果額									
		効果項目	食料の安定供給に関する効果		農業の持続的発展に関する効果		農村の振興に関する効果		多面的機能の発揮に関する効果		その他
		効果額(千円)									
		(3) 事業負担の見通し									
9	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法								計画概要図 別図のとおり		
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法								10 その他		